

アニメ業界を目指すポートフォリオについて

【アニメ業界に向けた就活用ポートフォリオとは】

始めにアニメ業界の職種（クリエイティブ職）として「アニメーター（作画）」「演出」「仕上げ」「背景」「撮影」「制作」などがありそれぞれの職種に対して求人窓口が設けられます。

『美系大学で学び創作した作品集のポートフォリオ（以下PFと表記）で就活に臨んで苦しんでいる学生を度々見かけ「アニメーター志望」でPFの内容が造形や抽象的な物になっている』と言う経験があり何かお手伝い出来ればと思い立ちました。この場合はアニメーター志望となれば人物を中心に風景や空間、動きなどの構成で臨まなければ「あなたは何になりたいのですか？」と採用側が疑問に思う訳です。志望に合わない作品は入れては駄目ではなく「こんな作品を創作していました」とPFでの比率を抑えた構成でまとめると良いと思います。これが個性として加点になる事があります。

商業アニメに詳しい指導者が在籍している教育機関では、志望職種に合わせたPFを作成しますが指導者が不在の美系大学、専門学校及びそれ以外の学校に在籍の学生さんへ役立つように、PF指導の経験を踏まえて志望職種に合わせたPFの考え方をまとめてみました。

【ポートフォリオの考え方について】

基本的として、作品（素材）は自主的に時間を作り普段から作っていくものです。日々の勉強や研究心が重要です、観察力と想像力を持ってください。時間がないからと言ってやらなかったりすると、PFの完成に遅れが出ます。

完成が遅れると応募の機会を失う事となり、就職の機会を減らすことにつながります。

デジタル系の志望で、学校など機材環境が無いと作業出来ない事もありますが、やっている事（やろうとしてる事）の思案などで有効に時間を使ってください。

また、PFは人に見せるものです。「下手だから」「恥ずかしいから」と言って隠すのではなく、見せてアドバイスを貰うのがクオリティと完成度が上がります。

余白の多い「何か作りました」感ではなく、「これが好きだ」と熱意の伝わる物を考えてください。趣味が出せると、同じ趣味の選考者に気に留められる事もあり、面接で有利に働く事があります。ラフや落書きでは書き文字も有効です。

避けてほしいのは「エロ、グロ」等、一般的に嫌悪感物は入れないようにしてください。

【求人要項の違いについて】

求人要項で提出課題を設定されている場合でも、PFを添えるようにしてください。見てもらえる確率が高いので、課題にプラスして評価が上がる期待大です。コピー不可やPF不要となっている場合はそのまま受け止めてください。

【ポートフォリオ全体の構成について】

- 1 : ポートフォリオのページ数を決める。(20 ポケットのクリアブックが多い)
- 2 : 作品の選別をする。
- 3 : 表紙、扉、目次、プロフィール(自画像なんかも入れて履歴書に書けないことも書く)、見開きや複数作品のページレイアウト構成、最終ページに「ありがとうございました」などの言葉を入れる。
オリジナル、模写、デッサン、ラクガキ、課題など見出しとキャプションを入れて見やすくする。
- 4 : 力作を前に。
- 5 : ページレイアウトでは大きく見せる作品、縮小して複数掲載するなどメリハリをつける。
- 6 : 作品が多い場合は小さくし過ぎて詰め込まない。作品数を減らすかページ数を増やすなどを考える。
- 7 : 完成後、新しい作品などと差し替えまたはページの増強をして常にブラッシュアップをする。

【志望別のまとめ方】

・ アニメーター（作画）志望 ・

- ・ アニメーター志望は線画の画力が基本で重要ですので線画をしっかり見てもらえる構成で。
- ・ カラーはアニメ調のCG塗りより水彩調の筆タッチがある絵のほうが良いです。選考担当は生の線を見たい人が多く、CGで加工された絵は評価されにくいです。カラーは雑誌のグラビア的に考えて、力ある目を引き付ける作品を。
- ・ 線画はデッサン・クロッキー、落書き系のラフと、線画であっても色鉛筆などでタッチを付けてイラストを意識した仕上げの物とバランスを取ってください。
- ・ 動画のクリーンアップのような単調な線で仕上げってしまうと、立体感を無くし絵が死んでしまいます。タッチや強弱を有効に使って「絵として」描いて下さい。出来るだけ素描を重視して、絵にPCでの加工は避けてください。カラーが無くともクロッキー帳に描いた絵だけでも受かる人は受かります。
- ・ 見せる絵と物量(密度も重要)が高ポイントになります。ラフと完成やラフに試し塗りの簡単な着色やアニメ原画的なカゲ付けも効果的です。
- ・ シチュエーションや演出を考えて、小道具を使うとより良く絵が描けます。
- ・ 漫画、アニメ資料、写真、スケッチなど。出来るだけ肉眼で見る事を薦める。
- ・ 自分をアピールできる作品をしっかりと見せる。

※画力に不安のある人

- ・良く見せようとするれば、得意なもの（絵）で勝負する！但し偏りすぎはNG。
- ・自分の画風に合っている好きな作家の模写。
- ・ただ描くので無しに、苦手な部分など立体や構造を意識して「絵」を描く。
- ・不用意なシワは絵の崩れになります、適材適所シンプルに描く。
- ・一本一本の線には意味があります、おろそかに描かないように。
- ・上手くなるには上記を実行してひたすら数を描く。

内容

- ・オリジナル
- ・既存物の模写（手本にも見栄えの良い物を）、ポージング
※上記二項目のカラーイラスト、モノクロ、線画。性別や年齢、二人組以上の絡みや集合など
- ・空間を見せる、背景込みアニメのレイアウト的な情景（模写可）
- ・人物デッサン、クロッキー（部分も）
- ・風景デッサン、クロッキー（遠景、中景、近景、部分や室内も。人物込みも）
- ・小物、動物、機械、趣味、植物、身の回りの物など
- ・動きのあるポーズや動きの連続。
- ・物語のある絵コンテ風な物。
- ・クリーンアップ（UPと全身の生を2枚くらい）
- ・落書きなどその他いろいろ。

・ 背景 ・

- ・コンピューター（フォトショップなど）のみで作業する会社が多いが、手描とコンピューター両方出来る事が望ましい。
- ・背景とは言え人物他なんでも描ける事が必要。空間や立体、パース感覚に、自然や人工物の精密さなども養う。
- ・3DCG能力も必要とされて来ている。

内容

- ・上記作画に風景を多くして、着彩と線画をバランス良く。

・ 仕上げ ・

- ・仕上げはCGイラストと考えてください。レタスプロ等でペイントできる事は出来て当然なので、試験があるとすればスピードです。

- ・ポイントは色使いと絵が描ける事です。
- ・CG イラストなので作画と違い、マスクやブラシ等を使いクオリティの高い物を目指してください。
- ・アニメキャラに色を塗っても出来の判断に苦しみます。身の回りの物に対しての色作りが判断しやすいと思いますので、小物や料理のCGイラストも入れてください。

内容

- ・ 著作権を意識したCGイラスト。
- ・ 料理や小物。
- ・ 背景に合わせた色替え。
- ・ 画力アップのための、模写、オリジナル、デッサンなど
- ・ 作業工程、使用アプリケーションや時間など。

・ 撮影 ・

- ・ AEだけでなく、CGも出来る事がアピールのポイントになっているので、3DCGも勉強するようにしてください。プログラムの必要性や作業段取りの良さなど、奥の深いセクションです。素材に実写を使うのも有効。PFは紙と映像（デモリール）両方用意する。映像演出の勉強も必要。

内容

- ・ 作業工程、使用アプリケーションや時間など。
- ・ 絵コンテやデッサンなど。

・ 制作 ・

- ・ 外注が多い業界です。営業と事務能力を兼ねたスケジュール管理が主な仕事です。挨拶、電話対応や外回り、連絡など各セクションを繋ぐ重要なポジションなので、普段から挨拶やてきぱきと行動する事を心がけてください。エクセル、ワードなどが使える事必須。
- ・ PFは要らない事も多いが、自己アピールできる物として活用する。

内容

- ・ 作った又は作ってみたい作品の企画書など。
- ・ 自動車免許（外注先へ中間素材の集配の為に外回りを止める会社が増えて来ていて不要の場合もある。）
- ・ 作文。
- ・ 自分がどんな人間か等売り込むための物（イベント運営や自主的に活動していることなど）。
- ・ その他あればいろいろ。

・ 演出 ・

- ・ 本来、演出助手と言うところが窓口なのだが、分業制の進んでいるアニメ業界は制作から演出志望として入る事が多い。他の道としては作画や撮影などから演出になる事も多い。
- ・ 最近は絵が描けないと演出は厳しいので、最低限他人が理解できる画力が必要である。
- ・ 上記制作に足して以下の物。

内容

- ・ 絵が得意ならストーリーボード的な絵を多く。
- ・ シナリオ・絵コンテ。
- ・ デッサンなど

【最後に】

求人は各社様々で、他業界に比べて求人期間が長い業界です。書き溜めたスケッチブックだけでは同時期に複数社に応募できないので基本はPCで編集が良いと思います。

書類選考通過より面接での評価が高いハードルとなっています。普段から明るく笑顔ではきはきと行動して、面接で「暗い」「自主性がない」と言った印象を持たれないように心がけてください。

「何でもやります」は通用で出来なくなっています。「何が出来るのか」「こんなことが出来る!」「こんなことがしたい!」とアピールをしてください。通り一辺倒な返事や質問は誰もがします。その会社の事を勉強して、有意義な質問をして面接官に好印象を持たれる努力をするように。

ここ最近以前より色々な職種の本が出版されネットでも情報があふれてきました。色々と参考にして目を肥やしてください。

【物を作る仕事に就くのにその作品が無いと言うのは「仕事に就いても作品が作れない」と同意義です。】

自分をアピールできるしっかりとしたPFを仕上げ是非こちら側の世界へ。

若い力が来るのを私たちは待っています!一緒に作品を作りましょう!

一般社団法人日本アニメーター・演出協会(JAniCA)

理事 吉本拓二